

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 東大

上場会社名 不二製油株式会社

コード番号 2607 URL <http://www.fujioil.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 海老原 善隆

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 柳井 哲郎

TEL 03-5418-1044

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

平成21年12月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第2四半期 | 102,347 | △11.9 | 7,904 | 62.5 | 7,479 | 67.1 | 4,789 | 59.6 |
| 21年3月期第2四半期 | 116,188 | — | 4,865 | — | 4,476 | — | 3,001 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 55.72 | — |
| 21年3月期第2四半期 | 34.92 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 173,928 | 93,528 | 51.4 | 1,040.15 |
| 21年3月期 | 172,087 | 87,801 | 48.9 | 978.67 |

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 89,412百万円 21年3月期 84,128百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 7.50 | — | 9.00 | 16.50 |
| 22年3月期 | — | 9.00 | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | 9.00 | 18.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|------|--------|------|--------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 215,600 | △9.9 | 15,000 | 30.1 | 14,100 | 36.8 | 9,000 | 20.2 | 104.70 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|--------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 87,569,383株 | 21年3月期 | 87,569,383株 |
|---------------------|-------------|-------------|--------|-------------|

| | | | | |
|-----------|-------------|------------|--------|------------|
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 1,607,659株 | 21年3月期 | 1,607,272株 |
|-----------|-------------|------------|--------|------------|

| | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 85,961,942株 | 21年3月期第2四半期 | 85,971,898株 |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年10月29日発表の通期連結業績予想を修正していません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展や輸出の持ち直しなどにより、景気の底打ち感がでてきたものの、雇用や所得環境は一段と厳しさを増しており、厳しい状況が続きました。

当社グループを取り巻く食品業界では、消費者の節約志向が更に強まり、低価格・ボリューム感などが重視されるようになり、企業の価格対応力が一段と求められました。

このような状況のなか、当社グループは、中期経営計画「革進・実行 2010」を着実に実行し、「技術経営」の推進、顧客ニーズに即した製品開発、他社にない高機能素材の提供、生産コストの削減に加えて、重要課題である「海外事業の拡大」、「大豆たん白事業の再生」に積極的に取り組み、成果を上げてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は1,023億47百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は79億4百万円（前年同期比62.5%増）、経常利益は74億79百万円（前年同期比67.1%増）、四半期純利益は47億89百万円（前年同期比59.6%増）となりました。

部門別の概況は次のとおりです。

(油脂部門)

国内では、チョコレート用油脂などのスペシャリティ製品やパーム油などが堅調に推移したものの、原料相場の影響による販売価格の下落や業務用斗缶市場での苦戦などにより、前年同期に比べ、減収、減益となりました。

海外グループ会社は、景気低迷の影響が一部に見られましたが、アジアを中心に精製部門の採算改善が大きく業績に貢献した結果、原料相場の影響などにより減収になったものの、利益は前年を上回りました。

以上の結果、当部門の売上高は396億49百万円（前年同期比24.7%減）、営業利益は34億32百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

(製菓・製パン素材部門)

国内では、業務用チョコレートが好調に推移し、販売量を伸ばすなど業績に寄与しました。クリーム類、マーガリン・ショートニング類、フィリング類については、風味や低油分などの機能を訴求した製品が貢献し、洋菓子、製パン向けに堅調に推移しました。

製菓・製パン素材輸入販売は、原料相場の影響などにより減収になりましたが、冷菓用調製品が増加し、利益は前年を上回りました。

国内子会社のデザート類は、小売向けの不振に加え、新型インフルエンザの影響などもあり、厳しい状況が続きました。

海外では、同部門の子会社は、原料相場の影響などにより減収となりましたが、日本向け調製品販売が堅調に推移し、利益は前年を上回りました。

以上の結果、当部門の売上高は434億82百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は36億14百万円（前年同期比119.8%増）となりました。

(大豆たん白部門)

大豆たん白素材に関しては、国内は発酵培地用途や惣菜向けに加え、健康食品向けが伸び、増収、増益となりました。中国における同部門の子会社は、採算性向上により利益面は改善しました。

大豆たん白食品は、厳しい市場環境により減収となりましたが、コスト削減に加え、原材料産地にこだわった製品作りが好評だったことなどにより、利益は改善しました。

大豆機能剤は、国内の発酵培地用途や酸性乳飲料向けに加え、海外市場も順調に伸び、増収、増益となりました。

豆乳・通販は、販売が伸び悩み厳しい状況が続きましたが、コスト削減努力により利益面は改善しました。

以上の結果、当部門の売上高は192億16百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益は8億57百万円（前期は営業損失1億52百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18億41百万円増加し、1,739億28百万円となりました。

主な資産の変動は、受取手形及び売掛金の増加22億54百万円、たな卸資産の減少17億28百万円、有形固定資産の増加1億83百万円、投資その他の資産の増加5億68百万円であります。

有利子負債（リース債務除く）は、前連結会計年度末に比べ26億22百万円減少し、532億19百万円となりました。

主な純資産の変動は、剰余金の配当7億73百万円と四半期純利益47億89百万円により利益剰余金が40億16百万円増

加したこと及び評価・換算差額等の12億69百万円増加等であります。

この結果、自己資本比率は51.4%、1株当たり純資産は1,040.15円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ2億79百万円増加し、50億2百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、82億73百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益72億39百万円、減価償却費45億67百万円、たな卸資産の減少額24億98百万円等による収入が、売上債権の増加額16億7百万円、仕入債務の減少18億58百万円等の支出を上回ったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、36億1百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出32億39百万円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、46億25百万円の支出となりました。これは主に短期借入金等による短期資金調達額の純減少額31億17百万円、長期借入金の返済による支出6億43百万円、配当金の支払額7億73百万円による支出等があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月29日発表の通期の業績予想は修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を一部省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,024 | 4,753 |
| 受取手形及び売掛金 | 40,490 | 38,236 |
| 商品及び製品 | 17,529 | 17,626 |
| 原材料及び貯蔵品 | 13,333 | 14,964 |
| 繰延税金資産 | 1,119 | 868 |
| その他 | 1,808 | 2,278 |
| 貸倒引当金 | △177 | △172 |
| 流動資産合計 | 79,127 | 78,555 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 31,825 | 31,545 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 33,323 | 29,577 |
| 土地 | 15,526 | 15,502 |
| 建設仮勘定 | 871 | 4,825 |
| その他（純額） | 1,441 | 1,355 |
| 有形固定資産合計 | 82,988 | 82,805 |
| 無形固定資産 | 1,664 | 1,141 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,011 | 7,118 |
| 繰延税金資産 | 79 | 344 |
| その他 | 2,316 | 2,362 |
| 貸倒引当金 | △274 | △260 |
| 投資その他の資産合計 | 10,132 | 9,564 |
| 固定資産合計 | 94,785 | 93,512 |
| 繰延資産 | 15 | 19 |
| 資産合計 | 173,928 | 172,087 |

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,424 | 15,866 |
| 短期借入金 | 22,280 | 23,509 |
| コマーシャル・ペーパー | — | 1,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 10,020 | 20 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,589 | 1,324 |
| 未払法人税等 | 2,179 | 2,829 |
| 賞与引当金 | 1,672 | 1,521 |
| その他 | 6,305 | 6,021 |
| 流動負債合計 | 58,471 | 52,093 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 90 | 10,100 |
| 長期借入金 | 19,239 | 19,887 |
| 繰延税金負債 | 812 | 637 |
| 退職給付引当金 | 1,272 | 1,073 |
| 役員退職慰労引当金 | 374 | 370 |
| その他 | 139 | 125 |
| 固定負債合計 | 21,928 | 32,193 |
| 負債合計 | 80,400 | 84,286 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 13,208 | 13,208 |
| 資本剰余金 | 18,324 | 18,324 |
| 利益剰余金 | 63,775 | 59,759 |
| 自己株式 | △1,744 | △1,744 |
| 株主資本合計 | 93,563 | 89,547 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,117 | 708 |
| 繰延ヘッジ損益 | △209 | 152 |
| 為替換算調整勘定 | △5,058 | △6,279 |
| 評価・換算差額等合計 | △4,150 | △5,419 |
| 少数株主持分 | 4,115 | 3,672 |
| 純資産合計 | 93,528 | 87,801 |
| 負債純資産合計 | 173,928 | 172,087 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 116,188 | 102,347 |
| 売上原価 | 96,826 | 80,549 |
| 売上総利益 | 19,361 | 21,798 |
| 販売費及び一般管理費 | 14,496 | 13,894 |
| 営業利益 | 4,865 | 7,904 |
| 営業外収益 | 530 | 241 |
| 営業外費用 | 919 | 666 |
| 経常利益 | 4,476 | 7,479 |
| 特別損失 | 72 | 239 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,404 | 7,239 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,476 | 2,071 |
| 法人税等調整額 | △150 | 130 |
| 法人税等合計 | 1,325 | 2,201 |
| 少数株主利益 | 77 | 248 |
| 四半期純利益 | 3,001 | 4,789 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,404 | 7,239 |
| 減価償却費 | 4,790 | 4,567 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 51 | 185 |
| 受取利息及び受取配当金 | △99 | △90 |
| 支払利息 | 744 | 490 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △4,019 | △1,607 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △5,793 | 2,498 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 56 | △1,858 |
| その他 | △87 | △9 |
| 小計 | 47 | 11,414 |
| 利息及び配当金の受取額 | 99 | 90 |
| 利息の支払額 | △699 | △503 |
| 法人税等の支払額 | △1,506 | △2,728 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △2,058 | 8,273 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,134 | △3,239 |
| その他 | 197 | △361 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,936 | △3,601 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 6,691 | △2,117 |
| コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少) | — | △1,000 |
| 長期借入れによる収入 | 1,206 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,315 | △643 |
| 社債の償還による支出 | △10 | △10 |
| 配当金の支払額 | △644 | △773 |
| その他 | △113 | △80 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 5,814 | △4,625 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △89 | 233 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 729 | 279 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,832 | 4,722 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,562 | 5,002 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

当社及び連結子会社の事業は、取扱い製品をその種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して判別したところ、食料品製造事業とその他事業に区分され、そのうち食料品製造事業の売上高、営業損益の金額の占める割合が、それぞれ全セグメントの90%を越えていますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しました。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | 米州 (百万円) | 欧州 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|------------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 76,980 | 21,316 | 9,750 | 8,141 | 116,188 | — | 116,188 |
| (2) セグメント間の内部売上高 | 472 | 19,375 | 875 | 22 | 20,746 | (20,746) | — |
| 計 | 77,452 | 40,692 | 10,625 | 8,163 | 136,935 | (20,746) | 116,188 |
| 営業利益 | 3,042 | 702 | 843 | 255 | 4,844 | 21 | 4,865 |

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

| | 日本 (百万円) | アジア (百万円) | 米州 (百万円) | 欧州 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|------------------|-------------|--------------|-------------|-------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 73,886 | 14,318 | 8,704 | 5,437 | 102,347 | — | 102,347 |
| (2) セグメント間の内部売上高 | 102 | 13,220 | 518 | 24 | 13,865 | (13,865) | — |
| 計 | 73,988 | 27,539 | 9,222 | 5,462 | 116,213 | (13,865) | 102,347 |
| 営業利益 | 5,056 | 2,172 | 789 | 45 | 8,063 | (159) | 7,904 |

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

1 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、フィリピン、インドネシア

米州：米国

欧州：ベルギー

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

| | アジア | 米州 | 欧州 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|--------|-------|-------|--------|---------|
| I 海外売上高（百万円） | 18,524 | 9,753 | 7,221 | 2,400 | 37,900 |
| II 連結売上高（百万円） | | | | | 116,188 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%） | 15.9 | 8.4 | 6.2 | 2.1 | 32.6 |

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

| | アジア | 米州 | 欧州 | その他の地域 | 計 |
|------------------------------|--------|-------|-------|--------|---------|
| I 海外売上高（百万円） | 13,056 | 8,721 | 4,977 | 1,613 | 28,368 |
| II 連結売上高（百万円） | | | | | 102,347 |
| III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%） | 12.8 | 8.5 | 4.9 | 1.6 | 27.7 |

(注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります

2 国又は地域の区分の方法……………地理的近接度によっております。

3 各区分に属する主な国又は地域…アジア：シンガポール、マレーシア、中国、インドネシア

米州：米国

欧州：ベルギー、フランス、スペイン

その他の地域：ロシア、オーストラリア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。